



12月5日の人権集会で皆さんに問いかけた質問。「分かり合えない・理解できない人と、何とか仲良くやっていくためにはどうすればいいのか?」。集会で最後に言ったように、これは大人でもなかなか明確な答えが出せない質問です。実際、皆さんの回答の中にも「大人や国の偉い人ができないことを中学生レベルで考えても…」という言葉もありました。

でも、多くの人が様々な意見を書いてくれて、先生自身、とても参考になりました。本当はすべての人の意見を紹介したいくらいです。とりあえず、皆さんからの意見を見ながら考えていきましょう。

① 仲よくするためには、相手が好きな食べ物や最近あった出来事などを中心に話していけばいずれは仲良くなると考えます。例えば、今はサッカーの話題で、あまり気の合わない人と楽しくコミュニケーションができていたと思いました。

② 自分がその人を苦手と思う理由があるはずだから、まず相手と話し合うことが大切だと思う。もしかしたら誤解があるかもしれないし、実際に話してみることで印象が変わるかもしれないので、まずは話してみるべきだと思う。

③ その人分かり合える共通の話題を探してみる。その分かり合えない人の話をしっかり聞いて、自分と合っているところがないか探してみる。

④ その人の好きなことや同じ趣味を探していろいろお話をする。今頑張っていることを聞いてみたり、何か不安なことを聞いて少し相談に乗ってみる。

「まずは、話してみよう!」この意見はとても多かったですね。上の4人は、「共通の話題を見つけたり、悩みを聞いてみたりすることで、相手を理解するきっかけを作ったり、相手に対する誤解を解いたりすることができる」という考えを述べています。

同じように、話をすることの大切さに着目した人たちには、こんな意見を描いてくれた人もいました。

⑤ 僕はいつも何かを話すときに、この発言は相手にとって不快ではないか?と一度考えてから発言している。

⑥ まず、自分のことではなく相手のことを考えてから自分の気持ちを言い、自分の思っていることだけを言わないことが大切だと思います。

⑦ 話すときに、否定から入らないようにする。

⑧ 優しくしゃべりかけて、まずは相手の話を聞き、相手を理解する。

「相手への話し方」「話すときの心構え」…っていうのかな。書いている内容は「当たり前じゃん」と思うことかもしれないけど、会話のトラブルをきっかけにして、相手を否定したくなったり、「あいつわけわかんないよ」と思ったりすることは多いんじゃないかな。先生は自分自身、思い当たることが多いのですが、皆さんはどうですか? さて、今回の話題はこの号だけで書ききれないので、次回に続きます!